

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第2回所沢市産業振興ビジョン推進会議
開 催 日 時	令和7年11月17日(月) 10:00~12:00
開 催 場 所	所沢市役所 604会議室
出席者の氏名	(会議に参加した委員) 河藤 佳彦、三上 誠、中野 陽子、見澤 英一、 堺 奈都、観山 恵理子、宮嶋 和義
欠席者の氏名	小林 つぐみ、大木 敬治、朝倉 はるみ、幸物 正晃
説明者の職・氏名	なし
議 題	(1) 所沢市産業振興ビジョンの進捗状況について(令和7年9月末時点) (2) 令和7年度所沢市地域経済動向調査の調査票について (3) 第2次所沢市産業振興ビジョンについて (4) その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 席次表 ・ 委員名簿 ・ 資料1 : 所沢市産業振興ビジョン推進状況確認シート (令和7年9月末時点) ・ 資料2-1 : 令和7年度所沢市地域経済動向調査の調査票案 (商工業) ・ 資料2-2 : 令和7年度所沢市地域経済動向調査の調査票案 (農業) ・ 資料3 : 次期ビジョン策定のスケジュール案及び内容案
担 当 部 課 名	産業経済部 部長 小池 純一 産業経済部 次長 吉川 泰央 産業経済部 産業振興課 課長 石川 純也 副主幹 町田 昌紀 主査 安齊 克徳 主任 濱仲 拓巳 産業経済部 商業観光課 課長 松本 圭四郎 主幹 村田 貴紀 産業経済部 農業振興課 課長 前田 亘一 事務局 産業経済部 産業振興課 電話 04-2998-9157

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
産業振興課長	開会
各委員	前回欠席委員より自己紹介
会長	あいさつ
事務局	これからの進行については、本推進会議条例第5条の規定により、会長に議長をお願いする。
会長	議事を進める。本日、傍聴希望者はいるか。
事務局	傍聴者はいない。
会長	それでは、議事を進める。
	議事（1）所沢市産業振興ビジョンの進捗状況について（令和7年9月末時点）
会長	事務局より説明を。
事務局	産業振興課分について、資料1に基づき説明
会長	質疑、意見はあるか。
委員	特になし
事務局	商業観光課分について、資料1に基づき説明
会長	質疑、意見はあるか。
会長	重点推進事業8の「まち」×「みどり」のおさんぽコース道標等整備事業について、今回はNo. 7を進められているとのことだが、道標はハード面のみという理解でよいか。それともソフト面の事業と結び付けられているか。
事務局	いくつか種類がある。今までは丸太の形状をした擬木で道標を作成していたが、今はQRコードを付けたり周辺の観光地スポットを紹介できるような地図を付ける等、いろいろな用途に使えるように切り替えている。
	大きな道標には下の空きスペースがあるため、そこをイベントに利用することを検討している。今年度末にKADOKAWAが俳句イベントをやるので、付近の道標に俳句を付けていき、道標それ自体を楽しめるような使い方もできるように整理を進めている。

会長	<p>主要施策3-1-4の魅力ある商店街創出支援補助金について、3つあるというメニューのうち「共同事業」というメニューはハード面のものか、ソフト面のものか。</p>
事務局	<p>主にソフト面。地元商店街で開催される夏祭りや、商店街活性化イベント等を支援するもの。</p>
会長	<p>商店街以外の主体、例えばNPOであったり、その他事業活動をしている団体や市民と連携した事業を支援する考えはあるか。</p>
事務局	<p>現時点では視野に無かったので今後研究したい。</p>
事務局	<p>農業振興課分について、資料1に基づき説明</p>
会長	<p>質疑、意見はあるか。</p>
委員	<p>重点推進事業7の認定農業者等経営改善推進事業について、前年度から申請して候補の順番を待っている方がいるとのことだったが、年度別目標は30件で実績が23件ということで、順番待ちとなっているのはどういう事情なのか。</p>
事務局	<p>予算の上限があるため、補助単価が高いと30件を目標としていても、それ以前に上限に達してしまうため、お待ちいただいている状況。</p>
会長	<p>中長期的に見ていかないといけないが、農業分野でこういう取り組みがされるのは良いこと。予算の面で期待ができるのであれば予算の拡張も考えてよいのでは。</p> <p>さといもについての角川食堂との連携や、先ほどの道標でもあったがサクラタウンという拠点との連携について、有効活用できると良い。</p>
委員	<p>さといもの件について、収穫率や、農家と出荷できるさといもの量とのバランスはどうなのか。というのも、事業を大きくするとか、もう少し底上げするとなった時に、IoTを活用したさといもの育成に特化した研究開発が東京都立産業技術研究センターで行われており、さといもの収穫や成長が水や栄養価をコントロールすることによってかなり効率が上がるということが出ているので、そういったものを別の補助金事業として、新事業となるのか機器の導入になるか分からないが、所沢市の支援や施策というのを順番に使っていきもらい、ステップアップしてもらいたいというのも良いのではと感じた。</p>
事務局	<p>市としても、東京農工大学と連携し同様の研究を行っている。特に今年は、さといもの実証実験で収穫量に著しい差が出た。農家自体もそれを広めたいが、そのためには設備投資が必要になるため二の足を踏まれる方が大勢いる。実証実験で関わっていただいた方は自費でやりたいとおっしゃっているので、そういったところを広げていけるようにできるだけことはやっていきたい。</p>

会長	産学官連携で取り組まれている。供給サイドのイノベーションをこれからの農業の柱にしていく、特に商品開発は適した考え方だと思うので、視野に入れてほしい。
委員	基本的なことを聞きたいが、さといもは冬のイメージがある。所沢でこれからさといもを推していくとすると、一年中さといもを安定供給ができたりするののか。
事務局	おっしゃるとおり、夏に出せないのが一番弱いポイント。例えば加工工場を作ったとしても夏の間どうするのかという問題があるので、そこが課題だと考えている。
委員	通年で供給するということがどの品目も課題となっている。一般的には産地を回すというやり方がある。さといもの場合だと冷凍にして少しずつ出すということや、何か加工品にするといったやり方になるか。あるいは中間業者を探し、ここの地域に無い時や足りない時は他の産地からの連携でやっていくという方法がある。
委員	先日、飯能信用金庫、秋草学園、深井醤油、弊社（見澤食品）の4者で、ところざわ醤油焼きそばの新しいバージョンを考え、その中でさといもを使った焼きそばを学園祭で発表されて、好評だったと聞く。学校給食でも取り扱っていただければ。所沢のさといもは他とは質が違うので、どんどん推せる商品かと思う。
会長	特産農産品のブランド化ということで、いわゆる食堂や事業者だけでなく、大学やイベントでの連携も考えられる。様々な主体と連携していくことを視野に入れるとブランド化が更に進んでいくのではないか。食育という話もあったが、小さいころから「こういった特産品がある」ということを給食を食べて分かってくると思うので、そこからアピールしていく、という新しい展開が出てくると思う。
委員	さといもはブランドになっているのか。お茶はブランドになっていると思うが、さといも単品ではなっていない。会津の農家に所沢のさといもを渡すと「所沢のようなさといもはこっちには無い」と言われるくらい美味しい。昔は農家の人たちがおやつとして食べていた子芋を作って渡すと、「こっちでは捨ててしまっているし、食べたことが無い」と言っていた。これがヒントになるか分からないが、いろいろな農業の施策の中で新規就農者が増えていたりするが、周りの農家から話を聞くと、昔と比べてさといもの作付面積が少ないと聞く。作っても高く買ってくれないから、という話も聞く。なので、ブランドにして「所沢のさといもは美味しい」と市も積極的にPRしていただけると、さといもを作ってくれる農家も増えると思うし、もっとしっかり支援したほうが良いと思う。あらゆることを想定しながら未来のことを考えると、今持っている中でさといもが一番だと思うので、お店等で蒸かして食べてくれ、という取り組みをすればバイヤーが食いついてくるのでは。

委員	個別の会社の名前を出していいかわからないが、株式会社味香り戦略研究所という会社と以前仕事で関わったことがあり、味覚センサーのようなものを作っていて、美味しさを数値化しマッピング、視覚化できる。そこに市場調査を頼むための補助金を出すのもありなのでは。
会長	皆さんの意見は、新しい産業振興ビジョンに向けたひとつ大きな目玉になる可能性がある。地元の特産品をブランド化していくということ。それに合わせて供給面の増強、需要面の開拓、そういったところで可能性が広がる。さといもに限らず、その地域の商品作物を中心としたブランド化という可能性が十分にある。産学官連携も考えられるので、さまざまな可能性を展開していければよい。東京農工大学との連携もあるわけだから、こうしていきたいと持っていくと、それに対してこういうことができます、という話も出てくると思う。 地元の商店街やイベントとの連携も大事。教育委員会との連携も食育ということで繋がってくる。さといもは一つの事例だが、これが有望だとなってくればお茶などと同じようなレベルに高めていけるのではないか。
会長	全体を通して意見はあるか。
委員	埼玉県では農機具リースの補助は無いが、国はある。県の方も検討していただくとありがたい。重点推進事業7について、待っている人がいるということは要望が多いということ。認定農業者が設備を更新したいということなので、リースも検討に入ると少し緩和ができるのでは。早く更新した方が生産も上がると思うし、DXとしてドローンも最近は使われているから検討できるか次の産業振興ビジョンでお願いしたい。
会長	議事（2）令和7年度所沢市地域経済動向調査の調査票について 議事（2）について事務局より説明をお願いします。
事務局	資料2-1及び2-2に基づき説明。
会長	基本的なところで確認したいが、調査票の前半は定点観測、後半が施策に関わるものとなっているが、後半の項目はどのように選定されたのか。
事務局	後半の設題については、あらかじめ産業経済部内で質問を集めたり、委託事業者から最近の調査のトレンドを伺い、案としている。
会長	質疑、意見はあるか。
委員	以前も少し議論に出たが、サンプルの抽出方法は結局どのように行ったのか。
事務局	サンプルについて、商工業者については総務省のデータベースから9,000者程度をピックアップし業種ごとにある程度似たような件数になるように合計1,700者を抽出した。農業者については5,000㎡以上の農地で就農されている方を農業委員会から頂戴し、そこから抽出した300者としている。抽出については、毎年ランダムだと回答

	<p>率に差が出るので、ある程度回答していただいている方を中心にチョイスをさせていただき、回答をいただけてなかった人たちの部分は入れ替えをしている。</p>
委員	<p>毎年回答いただける方がいらっしゃるのであれば、今おっしゃったように昨年、一昨年ご回答いただいた方にもう一度送るのが良い。 資料２－１の間１２、様々なデジタル技術がある中、生成ＡＩを選択された理由は。</p>
事務局	<p>ＡＩに係る設問を入れようという話にはなったが、生成か生成でないかはさほど議論せずに設題とした。ご助言をいただきたい。</p>
委員	<p>おそらく回答される方もＡＩ専門のスタッフではない可能性があるもので、具体的な例をカッコ書きや注意書きをすると良い。「生成」は入れなくても良い。</p>
事務局	<p>そのように検討・対応したい。</p>
委員	<p>資料２－２の間６の選択肢７について、「データ」という表現だと手書きのデータも含まれてしまうので、どういうことを想定されているのか分かりにくかった。デジタルデータで、パソコンで計算したり管理したりしている方を抽出したいという雰囲気は感じる。</p>
会長	<p>アンケート調査では、もっと分かりやすい表現にする必要がある。</p>
委員	<p>市が何を聞きたいのか、方向性を分かりやすく。</p>
事務局	<p>分かりやすい文言に改める。</p>
委員	<p>同資料の間１０～１２の６次産業化について、イメージとしては１つの経営体で１次産業～３次産業までやって６次産業化していると思うが、農商工連携という違う主体が連携するイメージなので、括弧書きされていることが少し違うように思う。両方について聞きたいのか。</p>
会長	<p>この指摘は重要。定義がはっきりしていないということ。人によって理解が分かれる場合がある。注意書きを入れた方が良い。一義的に決まるような形にすれば良いと思う。</p>
事務局	<p>こちら側が何を示しているのかを回答者に分かるように注意書き、注釈を入れていく。</p>
委員	<p>１つの事業体で６次産業化までやっているものも含めたいとしたら、問１０の選択肢で「連携している」を例えば「取り組んでいる」にした方が分かりやすい。</p>
委員	<p>２点。資料２－２のＤＸに係る設問ではロボット、ＡＩ、ＩＴとなっているのに、資料２－１ではＡＩに絞った理由は。また、ページ数の問題もあると思うが温室効果ガスについては問わないのか。</p>

事務局	<p>前者については、DXの設問を2年ほど続けていたので、今回毛色を変えた設問にした。昨年度の設問で残した方が良い、というものがあれば差し替えも可能。後者については、特に検討をしたことはなかった。</p>
委員	<p>DXを外してAIに絞ったことで何が見えるか疑問。温室効果ガスへの取り組みも企業が取引をする上での条件になっていたりもするので、所沢市の企業に今後活躍してもらうためにどういう支援をできるのかを市が知りたいのであれば、この取り組みの有無を聞いてもいいのでは、と思う。</p>
会長	<p>新しいビジョンを作る時に、どういうことを求めたいのかを議論した上で、アンケートにしていくことが望ましい。今の段階ではできるだけ幅広く意見を聞きたいが、質問数も増やしたくない。そこで、言葉の定義を明確にしていく。注釈を活用するのもひとつ。CO2の問題も新しい質問を立てるのではなく、設問内の選択肢の1つに入れることも考えられる。</p>
事務局	<p>ご意見いただいた部分含め、部内で検討し改めて提示したい。</p>
会長	<p>議事（3）第2次所沢市産業振興ビジョンについて 事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>資料3に基づき説明。</p>
会長	<p>質疑、意見はあるか。</p>
会長	<p>総合計画とのスケジュールの合わせ方だが、同時にスタートするのか、それともズレが生じるのか。</p>
事務局	<p>確定案に至ってはいないが、現在部内で検討している中では、現行のビジョンは令和9年度で終わるので始期は令和10年度からとなる。総合計画と策定期間が1年ずれているので、次期ビジョンの終期を総合計画の終期と合わせ、かなり先の話になるが第3次所沢市産業振興ビジョンにて始期が総合計画と同じになるようにしたら良いのでは、という議論が出ている。</p>
会長	<p>各分野の目的意識を明確にしたいというのは非常に賛成。KPI的な指標が示されているが、本当にそれでいいのかというところから議論した方がよい気がする。所沢市としてどういう理念で産業を進めていくのか。いわゆる企業城下町型なのか、それとも住居と産業が同居している都市近郊型なのかで異なると思う。所沢の個性や優位性を活かして、どういう産業ビジョンにしていくのか。総合計画の理念も見えていかないといけない。そのあたりから考えたほうが良い。総合計画の策定段階で、内部であれば情報収集はできると思うので、そういったところを踏まえながら理念的なところを議論して、どういうことを調査するのか、どういうところに対してヒアリングをするのか、「所沢の産業はこうあるべき」という仮説を立てて調査をする必要がある。</p>

会長	全体をとおして感想・意見を。
委員	重点推進事業1について、立地相談が9件あったことだが、相談内容やその後のフォローアップは。
事務局	具体的な立地相談の前段階の相談であったり、奨励金・補助金の問い合わせのみ。現時点では特にフォローアップは行っていない。
委員	せっかくの問い合わせなので、どうフォローアップしていけるか、細くても繋がっていけるのかを踏まえていければ所沢市の産業も活性化すると思う。
委員	重点推進事業3で農業と商工業者とで連携という取り組みをされているが、全体を見渡すと農業が関連するトピックがいくつかあると思う。例えば観光に関連するものや、もの作り・地域資源活用であるとか、特産品関連。重点事業3で書かれてるのは交流会やマッチングイベントだが、その他にも重点推進事業の異なる分野に横断して農業の特性を活用したり、ブランドアピールしたりする機会があると思う。予算や担当者の都合もあると思うが、トピックごとに横断的に連携していけるとより良いと思う。
委員	重点推進事業の3について、11月4日の交流会に参加したが、業者の方、商業者の方がご自分の作っているものを本当に積極的にアピールして活発な交流をされていて、印象に残っている。私自身も、商品開発の支援に関わったことがあるが、せっかく作った商品も何年かすると販売を止めてしまっていることがある。やはりフォローアップは大事だと思う。所沢市の場合、そこでできた商品を、ふるさと納税の返礼品になったものもあれば、ブランドに認定されたものもあると聞いている。とても良い取り組みだと思う。行政には常に新しい取組が求められるが、その中でこの事業を15年も継続しているのはすごいことだ。是非継続して、次のビジョンでも取り入れていただければと思う。
委員	所沢の活性化という中では、旧庁舎をいかに活用するかが非常に大きな問題だと思う。昔は銀座通りが盛んだった。旧庁舎によって集客できるようになると、商店街も昔の活気ある商店街になると思う。今現在の旧庁舎跡地利用はどのように進んでいるのか。
事務局	来年度、旧庁舎を取り壊す方向での準備を始めており、予算を計上させていただくところからスタートとなる。ただ、そのあとどうするかはまだ決まっておらず、庁内でも市の最優先事項の1つなので、様々な関連部署を集めて検討を進めている状況。旧庁舎を除却するまでの間に、「次はどうか」ということを含めての並行的な作業となるので、この数年の中で決定していくものであると思われる。
委員	個別案件となってしまうが、旧庁舎の活用方法は必要性が高いと感じる。あそこをどうするかによって所沢は大きく変わっていくと思う。
会長	これから総合計画の議論も入ってくると思う。商業振興は非常に大事な産業分野である。商業振興は「まちづくり」に繋がっていく。「まちづく

	<p>り」のマスタープランも関係してくる。市長がトップとなって議論されていると思うが、産業経済の視点を取り入れていただきたい。</p>
事務局	<p>旧庁舎は総合計画にも記載されている。なお、現行の総合計画は令和10年までで、ビジョンは令和9年に終わるので1年早い。この1年スパンが空くことが課題として考えている。例えば、現行のビジョンを1年伸ばすことも可能ではあるが、次年度の予算を計上する中では、今の計画期間の中で令和9年で終わらせて、総合計画の終期に合わせるように考えていくべき、というのが事務局が持っているイメージ。</p>
会長	<p>それで期間の整合性は取れると思うが、新しい総合計画の理念や方向性が産業振興ビジョンと一致しないと、10年近く市全体としての整合が取れなくなる。総合計画が先行するのであれば、それを受けた形でビジョンを策定するのは非常にやりやすい。ビジョンが固まっていて、総合計画を作るということであればそれも一つの考え方だとは思う。総合計画の方向性を情報として入れながら、それと齟齬が無いような形で個別の計画を立てていく必要があると思うので、議論していただきたい。</p>
委員	<p>所沢のさといもを食べ比べてみたいと思ったが、自分がスーパーに行くとなんか所沢のさといもがあまり目立っていないように思える。一般市民は安いから高いかを選んでしまう。「所沢のさといもはすごい」というようなスーパーで見出しなどがあつたりすると、所沢市民としてはそちらに手が伸びるのではないかと。あと、1年中さといもがあつたら良いと言ったが、冬は暖かいものを食べたいので「さといも」のイメージがあるが、夏場は「さといもアイス」を売っているところがあつた。そういったものがいろいろなところで売っていれば気軽に食べられて、たくさんアピールできればブランド化できて良いかもしれない。</p> <p>あと、旧庁舎がもったいないなと思っていた。元町コミュニティ広場でイベントをやっているのだから、旧庁舎でも体験会などのイベントができればと思う。</p>
委員	<p>所沢のさといもは「ぬめっこい」点が他と違う。そういうところで差異が付けられればよい。また、例えば苦小牧のホッキ貝の解禁日には、人口を大きく上回る観光客が来るそうなので、1年間通さなくても期間を決めてフェアなどをやってもいいのではないかと。</p>
会長	<p>後期アクションプランが佳境に入っているところであり、新しいビジョンへの展望ということで非常に大事な時期だと思うので、引き続きご協力いただきながら皆さんと一緒にやっていきたい。</p>
会長	<p>議事（４）その他</p>
会長	<p>議事（４）その他として事務局より連絡事項はあるか。</p>
事務局	<p>議事（２）について、トランプ関税の設題を無くし、練り直させていただく。</p> <p>第3回の会議については、令和8年1月26日、月曜日、午後2時から市役所8階大会議室で開催を予定している。2年間の任期の最後になるので、報告書の案の作成・確認をメインに行う予定。</p>

会長 事務局	議事は以上となる。進行を事務局に返す。 閉会 以上
-----------	---------------------------------